

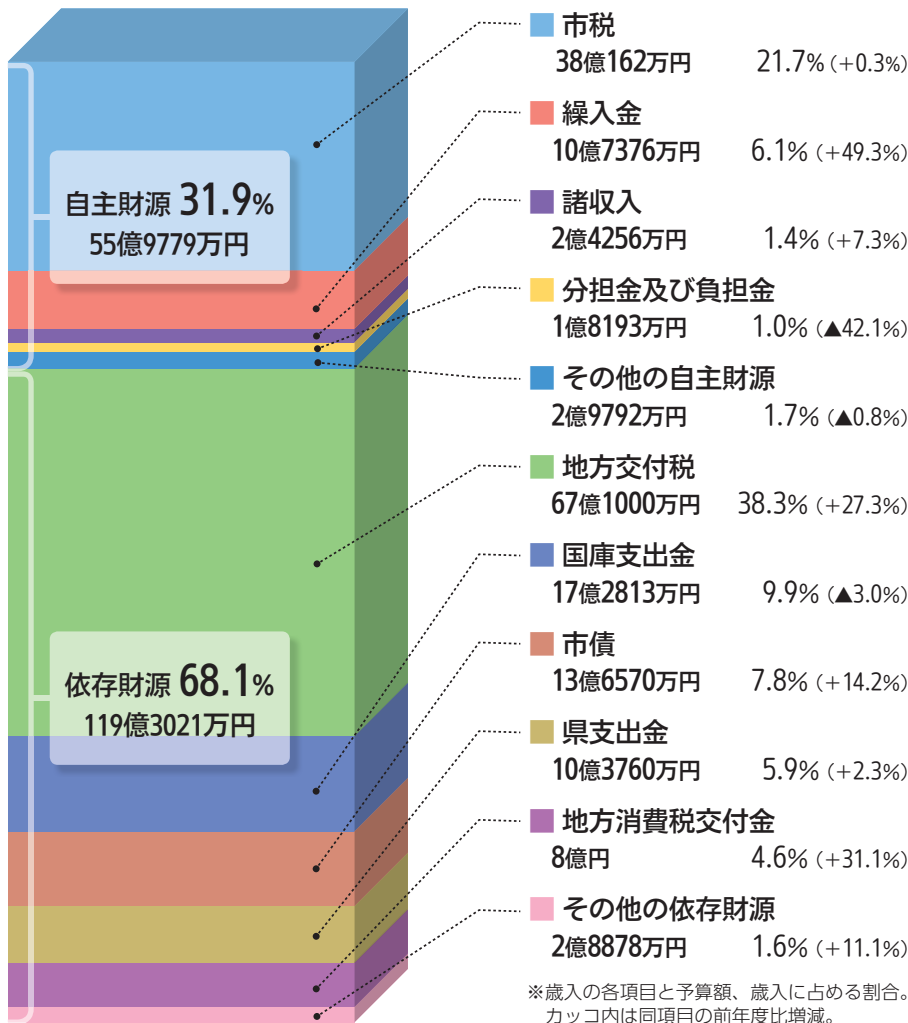
一般会計に 175億 2800万円計上

令和2年度の当初予算が市議会3月定例会で可決されました。一般会計は、前年度比13・2%増の175億2800万円、特別会計と合わせた総額は同9・7%増の297億5078万円となり、過去最大の予算規模となりました。

問 財政課 財政班 ☎73・0085

一般会計 歳入

入ってくるお金



2800万円

予算規模は過去最大に

一般会計

行政

政の基本的施策を行う会計である一般会計では、「一つ上のまちづくり」の実現に向けた予算

編成を行い、令和2年度は、第2次匠瑳市総合計画や市長マニフェストなどに掲げる施策を推進し、優先的に取り組むべき事業へ財源を重点的に配分しました。

予算規模は広域ごみ処理施設整備事業に関する負担金の増加などの影響で、過去最大となりました。

▼歳入 広域ごみ処理施設整備事業で交付税が大幅増
歳入では、東総地区広域

市町村圏事務組合で行う一般廃棄物処理事業の特別会計負担金に係る震災復興特別交付税が増加したことで、地方交付税が大幅に（およそ14億円）増えています。

また、幼児教育・保育の無償化に係る保育料の減額などで分担金及び負担金は減少したものの、消費税率引き上げによる増収分の一部が社会保障制度充実のための財源として国から交付されることから、地方消費税交付金が増加しています。

▼歳出 広域ごみ処理施設整備事業の負担金やパソコン整備費が増額
歳出では、小学校トイレ大規模改修事業の減額やパ

一般会計 歳出

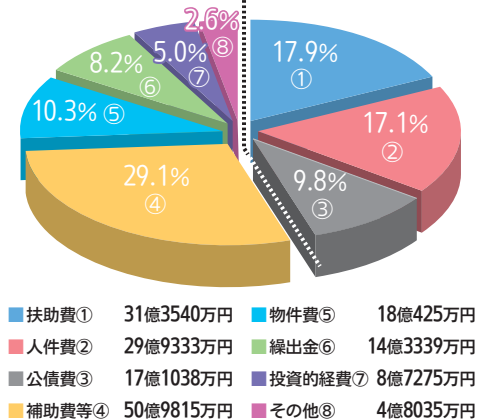
使われるお金



銚子市、旭市と構成する東総地区広域市町村圏事務組合で整備を進めている広域ごみ処理施設。写真奥に映るのがプラント部分で、稼働は令和3年度予定（銚子市野尻町。令和2年1月撮影）

性質別の歳出項目とその割合

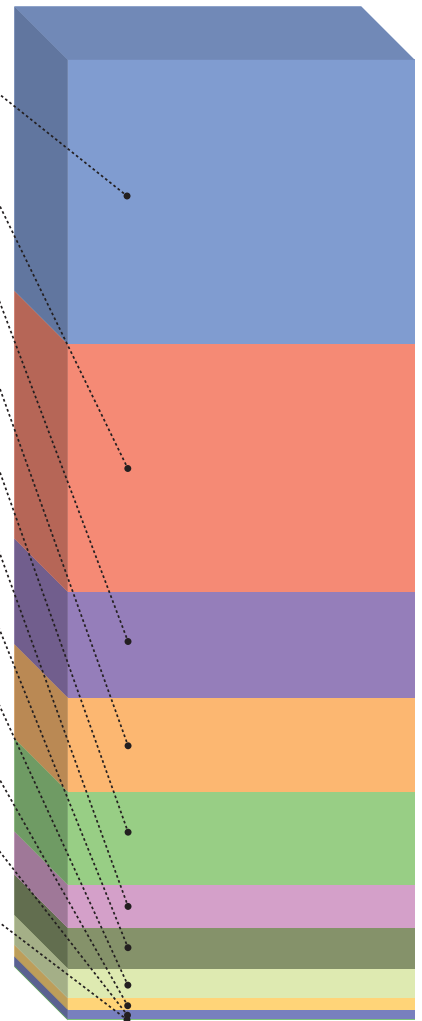
任意的経費 55.3% 義務的経費 44.7%



目的別の歳出項目

民生費	51億9436万円	29.6% (+1.1%)
衛生費	45億1947万円	25.8% (+81.6%)
総務費	19億3222万円	11.0% (+3.7%)
公債費	17億1038万円	9.8% (+1.8%)
教育費	16億9378万円	9.7% (▲7.7%)
土木費	7億8392万円	4.5% (▲1.8%)
消防費	7億3957万円	4.2% (+5.0%)
農林水産業費	5億4791万円	3.1% (▲3.1%)
商工費	2億250万円	1.2% (▲0.5%)
議会費	1億7887万円	1.0% (▲0.6%)
その他	2502万円	0.1% (0%)

※歳出の各項目と予算額、歳入に占める割合。カッコ内は同項目の前年度比増減。



一般会計 総額 175億

財政用語解説

●「一般会計」と「特別会計」

「一般会計」は、保健や福祉、教育、土木、環境対策などの基本的施策を行う会計で、その財源には市税や国・県からの補助金、交付金などを充てます。「特別会計」とは、保険料など特定の収入で事業を行うため一般会計とは区別して経理する会計です。

●「自主財源」と「依存財源」

市税や分担金・負担金、諸収入など市が自主的に収入できる財源を「自主財源」といい、対して、地方交付税や国庫・県支出金など国や県からの交付を受

けるものを「依存財源」といいます。歳入に占める自主財源の割合が多いほど、自立・安定した市の財政運営がしやすくなります。

●「義務的経費」と

「任意的経費」

地方自治体の経費のうち、支出が義務付けられ、任意に削減できない人件費や公債費、扶助費を「義務的経費」といい、対して、これ以外で任意で削減が可能な経費を「任意的経費」といいます。義務的経費の割合が小さいほど財政に弾力性があり、柔軟な予算編成が可能となります。

地域振興のための施策
予算を編成しました。

としましては、東京オリンピック・パラリンピック聖火リレーの実施に向けて関連イベントを開催し、地域一体となってオリンピック・パラリンピックを啓発します。また、今年度中にオリンピック予定のパークゴルフ場「パークゴルフそうさ」の運営・管理経費を新たに計上し、誰もが楽しめる生涯スポーツを通じた交流づくりに取り組みます。